

## 学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称      博士（医 学）      氏 名   大森 沙織

	主査	教授	平野	聡
審査担当者	副査	教授	坂本	直哉
	副査	准教授	神山	俊哉
	副査	教授	有川	二郎

### 学 位 論 文 題 名

大腸鋸歯状病変発生における腸管スピロヘータの関与についての検討

(Is human intestinal spirochetosis associated with sessile serrated adenoma/polyp?)

大腸過形成性ポリープは **malignant potential** を欠く非腫瘍性病変と考えられてきたが、近年になり過形成性ポリープを含む鋸歯状構造を有する病変を前駆病変として発癌する **serrated pathway** が注目されている。鋸歯状病変の中でも **SSA/P** の発生に腸管スピロヘータ症(**human intestinal spirochetosis: HIS**)が関与していないかに注目し、その頻度について検討した。その結果、大腸腫瘍と **HIS** の関連が示唆され、特に **SSA/P** との関連が疑われる結果とはなったが、**HIS** の診断精度に課題が残った。

この発表に対し、主査の平野 聡 教授から、**SSA/P** の病理診断について病理医間で不一致となることがないかどうか、また治療検体と生検検体の比較が可能と考えた根拠について質問があった。さらに、副査の有川二郎 教授、神山俊哉 准教授、坂本直哉 教授より、**HIS** と職業との関連や病原性の報告について、**HIS** とメチル化異常の関連について、偽刷子縁を有しない陽性所見について、**SSA/P** とスピロヘータに着目した理由について、**HIS** が **SSA/P** のみならず腺腫でも高頻度にみられたことの意義について等の質問があり、申請者は得られた研究データや文献的知見を引用し、適切に回答した。

本研究は **SSA/P** の原因として細菌感染に着目した点で新規性を有し、今回、スピロヘータとの関連は明らかとはならなかったが、今後、**SSA/P** の研究において重要な意義をもつと考えられる。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。